

全学生の皆さんへ

【第15報】夏季休暇中の体調報告および感染症予防対策について

全国的に感染者の増加傾向が明確となり、東京および近辺の地域は感染拡大地域です。夏季休暇で帰省や旅行を予定している人もいますが、訪問先の地方自治体の呼びかけに応じて、感染回避行動を取ってください。夏季休暇中であっても下記に従い、必要に応じて体調などの報告をお願いします。

1) 大学への体調報告（報告先：大学院生は指導教員、学部生は教務係）

1. 学科より休暇中も Webclass での体調報告を指示されている方は、その指示に従ってください。
2. 休暇中に体調不良の場合は、無理をせず近隣の医療機関を受診するか、保健所へ相談して下さい。
3. 最終登校から3日以内に体調不良となった場合、新学期の登校日より前2週間以内に体調不良となった場合は、学内での接触者調査や出席停止の判断が必要な場合がありますので、体調不良発生の時点で報告してください。※「登校」は、学友会活動含め、学内での全活動を示します。なお、8/4～6に学内で行う新型コロナウイルスワクチン接種後の数日以内に発生した体調不良については、別途、ワクチン接種時に配布する資料を参照に報告してください。
4. 休暇中にご自身や身近な方が PCR を受けることになった場合や、濃厚接触者と特定された場合には、速やかに以下の項目について報告し、大学から判断が出るまで登校しないでください。

＜自身が PCR を受けることになった場合＞

- ①検査を受けた年月日 ②検査を受けた医療機関 ③検査を受ける医療機関（入院先あるいは外来通院先） ④現在の自身の容態

＜自身が濃厚接触者となった場合＞

- ①濃厚接触者として特定された経緯と年月日 ②担当の保健所 ③発端者が診療を受けた医療施設 ④現在の自身の容態

＜身近な人が PCR を受けることになった場合＞

- ①検査を受ける人の（名前）・年齢・性別と職員・学生との続き柄 ②検査を受ける年月日 ③検査を受ける施設 ④治療を受ける施設（入院先あるいは外来通院先） ⑤現在の自身の容態

2) 都道府県を超えた移動は控えめに

やむを得ない場合は、2週間前から十分な感染予防策をとり、訪問後2週間は、健康観察に留意し、不特定多数の人との接触を避けてください。帰省前に PCR を無料で受けられる自治体もあります。

3) コロナワクチン接種の有無に関わらずに感染予防の励行を

ワクチン接種が、感染や発症を100%予防できるわけではありません。ご自身や相手のワクチン接種状況に関わらず、従前と同様、感染予防策をしっかりと励行してください。

4) 普段会わない人や大人数・長時間での飲食は控える

外食では、自治体が認証した飲食店をなるべく選び、大人数・長時間の飲食は控えてください。できる限り黙食とし、会話をする際はマスクを着用してください。